

■ 第1回芥川賞作家

石川 達三

いしかわ たつぞう

出身地 横手市

1905年（明治38年）～1985年（昭和60年）

『蒼氓』で第1回芥川賞を受賞。社会性の強いテーマ、時代の波にもまれる人間の生き方を描く。

『生きてゐる兵隊』 『風にそよぐ葦』 『人間の壁』

『金環蝕』など数多くの話題作を生み出す。



年譜

- 1905年 横手市に生まれる。
- 1927年 早稲田大学文学部入学。翌年、中退。
- 1935年 『蒼氓』により、第1回芥川賞を受賞。
- 1949年 芥川賞選考委員。
- 1952年 日本文芸家協会理事長。
- 1961年 日本著作者団体協議会初代会長。
- 1969年 菊地寛賞を受賞。
- 1975年 日本ペンクラブ会長。
- 1976年 芸術院会員。
- 1985年 東京都で没。79歳。